2024 年 8 月 27 日
SB C&S 株式会社

企業の生成 AI 開発と利活用に関する意識調査を実施

～6 割以上の企業が ChatGPT の導入を進める～

IT ディストリビューターである SB C&S 株式会社（以下「SB C&S」）は、企業における生成 AI（人工知能）の開発と利活用の実態や導入における課題を把握すべく、企業の情報システム担当者やビジネスパーソンを対象に「企業の生成 AI 開発と利活用に関する意識調査」を実施しました。

調査結果サマリー

- 6 割以上が ChatGPT を導入または導入を検討していると回答
- AI の開発において開発リソースは 45.3%が「クラウドメイン」と回答
- AI の開発、活用にあたり 38.4%が「人材育成や社員の IT リテラシーに課題あり」と回答
- 約 3 割が「ChatGPT や生成 AI を開発、活用する場合、技術的な支援があれば利用したい」と回答

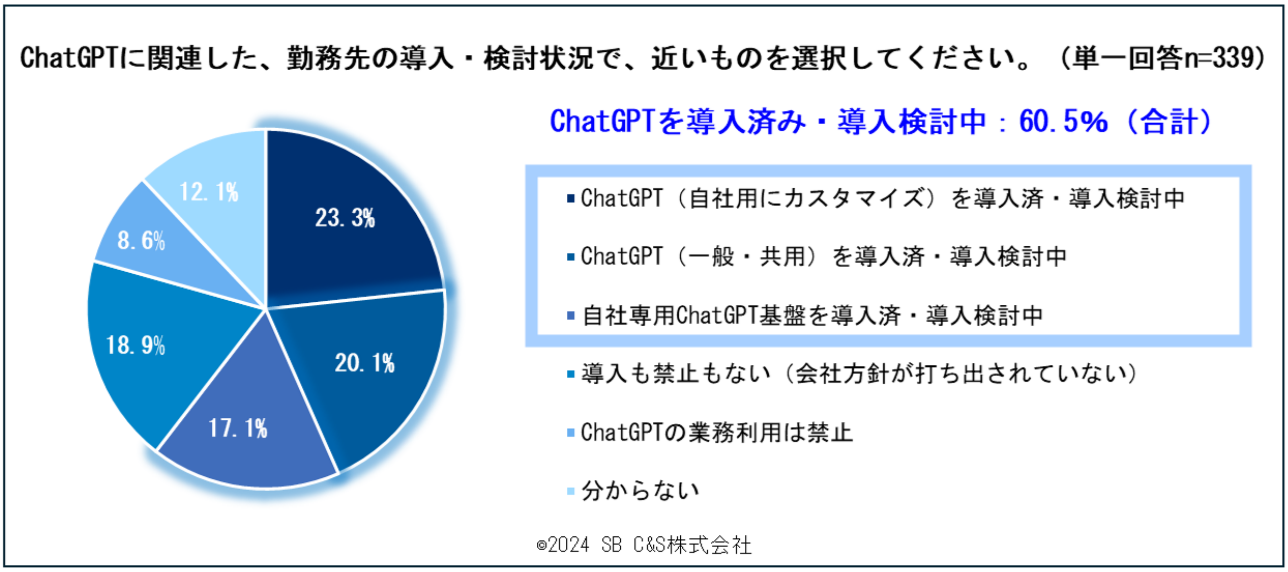
【調査の背景】

人工知能チャットボット ChatGPT が 2022 年に公開されて以来、生成 AI が世界中で注目されています。企業においても AI の導入が進んでいる企業や、導入を検討している企業が増えています。そこで今回は、企業の情報システム担当者 161 人とビジネスパーソン 178 人に対して、生成 AI の開発や利活用に関する調査を行いました。

【調査概要】

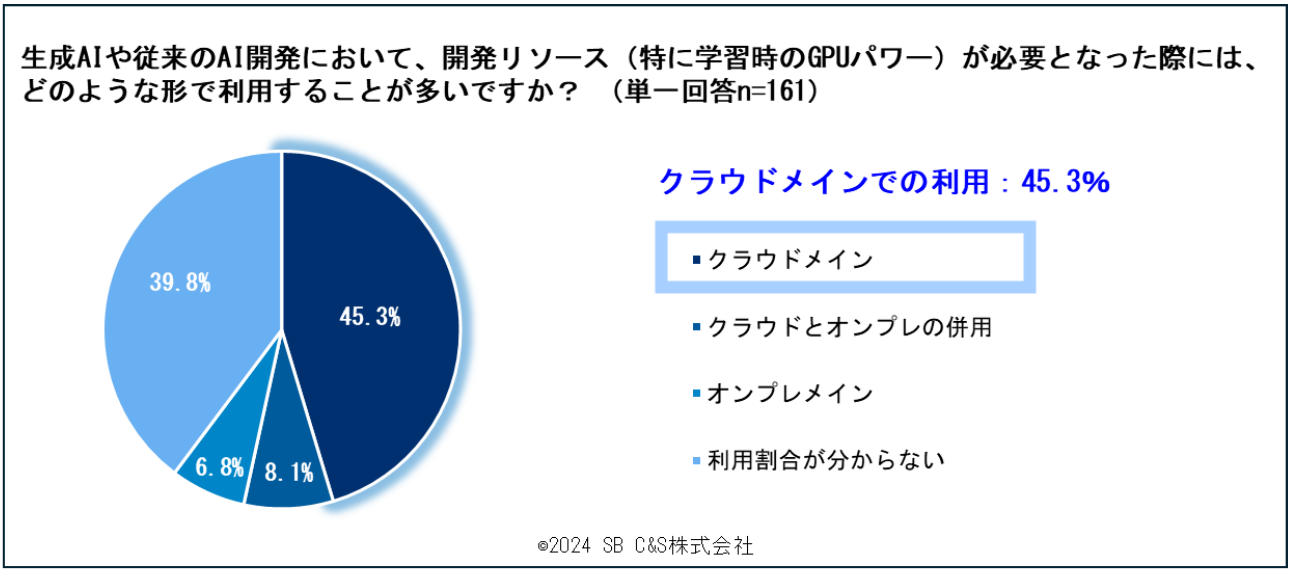
- 調査内容：企業の生成 AI 開発と利活用に関する意識調査
- 調査期間：2024 年 1 月 16 日～3 月 16 日
- 調査主体：SB C&S 株式会社
- アンケートモニター提供元：アイティメディア株式会社
- 調査対象：企業の情報システム担当者・エンジニア（161 人）、ビジネスパーソン（178 人）

ChatGPT の導入について、6 割以上が「導入済みまたは検討中」と回答



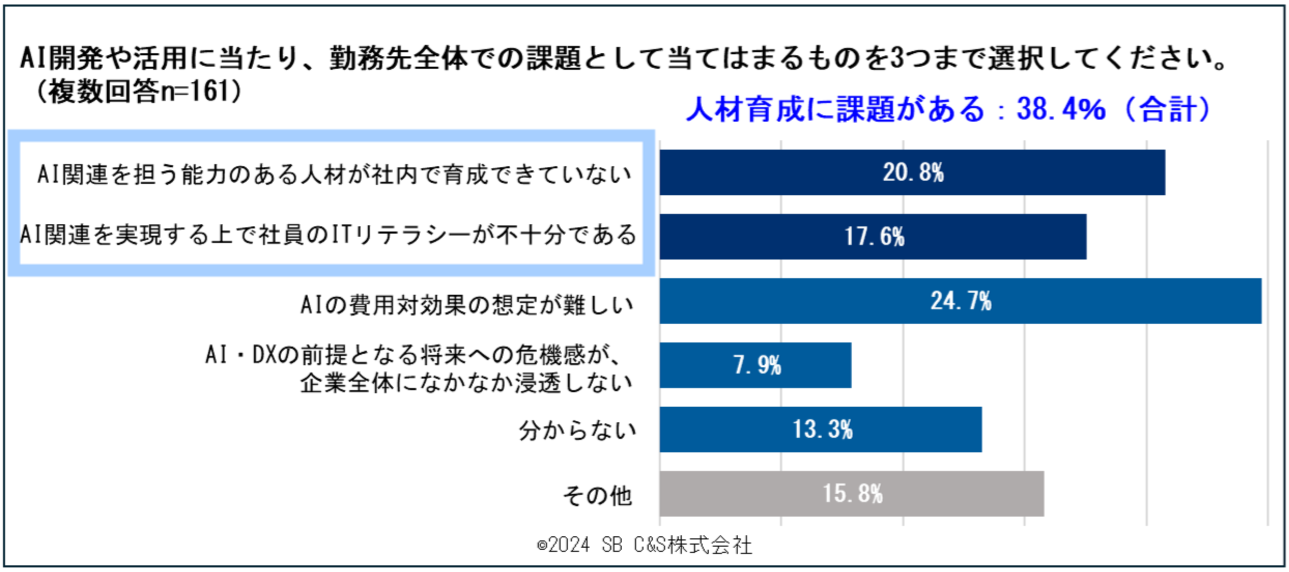
企業における ChatGPT の導入状況は、「ChatGPT（自社用にカスタマイズ）を導入済み・導入検討中」が 23.3%、「ChatGPT（一般・共用）を導入済み・導入検討中」が 20.1%、「自社専用 ChatGPT 基盤を導入済み・導入検討中」が 17.1%という回答になり、6 割以上の企業で導入済み、または導入検討中であることが分かりました。

生成 AI の開発リソースはクラウドメインが約 5 割



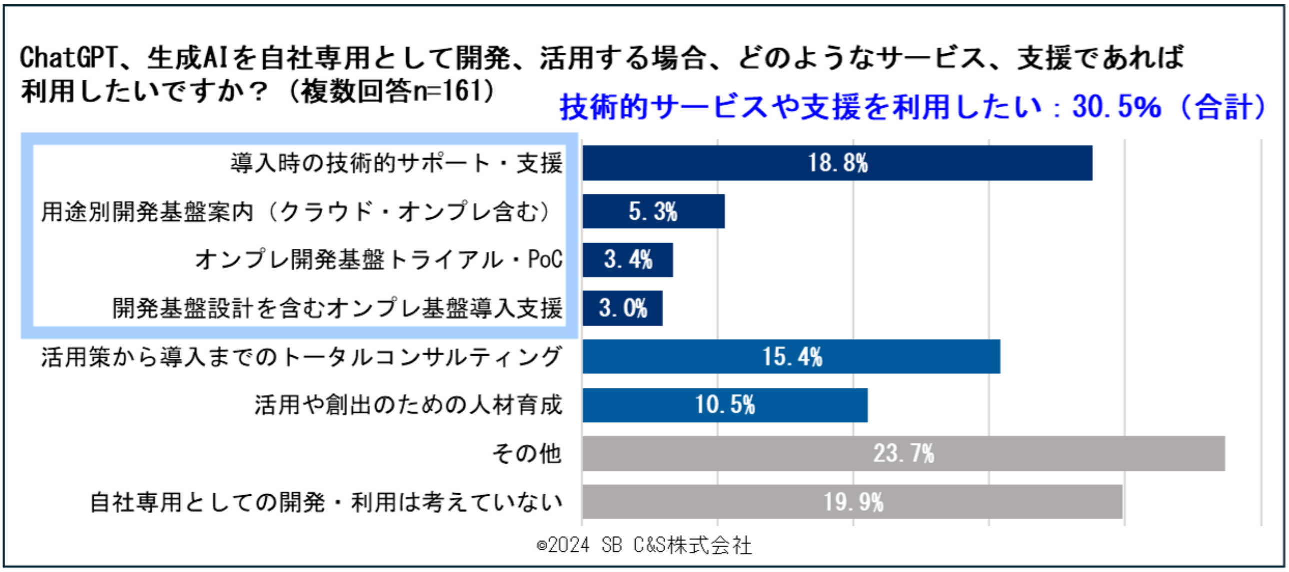
AI の開発リソースは、「クラウドメイン」での利用が 45.3%、「クラウドとオンプレの併用」が 8.1%、「オンプレメイン」が 6.8%という回答になり、クラウドに対する意向の高さがうかがえます。

AI 開発において人材育成が課題と考える企業が約 4 割



AI 開発の課題としては、「AI 関連を担う能力のある人材が社内で育成できていない」が 20.8%、「AI 関連を実現する上で社員の IT リテラシーが不十分である」が 17.6%という回答になり、AI 人材の不足が大きな課題となっています。

AI の開発や活用に当たり、技術的な支援があれば利用したいと考える企業が約 3 割



生成 AI の自社開発と活用に必要なサービス、支援は、「導入時の技術的サポート・支援」が 18.8%、「用途別開発基盤案内（クラウド・オンプレを含む）」が 5.3%、「オンプレ開発基盤トライアル・PoC」が 3.4%、「開発基盤設計を含むオンプレ基盤導入支援」が 3.0%という回答になり、サポートに対する需要が一定数あるようです。

【SB C&Sが取り扱うAI開発プラットフォーム】

ITディストリビューターであるSB C&Sでは、企業の生成AI活用に必要不可欠な「DGX System」「ネットワーク」「ストレージ」といったAI開発プラットフォームをワンストップで提供することが可能です。詳細はウェブサイト（https://www.it-ex.com/products/category/gpu/）をご覧ください。

【AI開発プラットフォーム導入に関するお問い合わせ】

SBBMB-nvidia-ai@g.softbank.co.jp

【調査結果の利用条件】

・ 情報の出典元として「SB C&S株式会社」の名前を明記してください。
・ ウェブサイトで使用する場合は、出典元として、下記リンクを設置してください。
  https://cas.softbank.jp/attempt/240827_01/

- SoftBankおよびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。
- その他、この取り組みに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。